

2021/8/24-2

(うと Q 世話し「現在位置」後編)

その前にひとつ、ネットに載っていたある記事をご紹介します。

「地球温暖化により北極海の氷が溶け、輸送航路としての価値が格段に高まった為に各国はその権益獲得のために動き出している。

何故ならスエズやパナマ運河を利用しなくて済み、南アの喜望峰やチリ、アルゼンチンの最南端を回らなくても済むために、前者は安全保障上、後者は輸送コスト削減上の効果が極めて高いからである」

記事を読んだ途端

「そこ迄考えるのか！そこ迄貪欲なのか！」

と驚くやら情けないやらのいたたまれない感情にかき立てられました。

ではここで話を記事のご紹介前に戻して

「何故我々は地球温暖化抑制の意味を真剣に問わず、直ぐに忘れてしまい、人によっては金儲けの道具としてしか見ないのか？」

自分が推察するに

「人間の地球に対する位置認識の仕方」

が原因しているのではなからうか？とっております。

即ち

「人間は地球上の生物の一種に過ぎない。他の生物と対等であり適者生存の法則に従っている」

という科学的な考え方よりも

「人間は地球上で最高等な選民ならぬ特別な加護を受けた選種族である。であるので、我々は地球や他の生物を支配し利用する権限を託されている。生存法則すら書き換えることさえ出来る存在である」

という専王的な考え方の方が勝っているからではないでしょうか。

それを平たく申し上げますと、要するに

「地位と名誉の権益権限、お金儲け最優先の社会になっている」

からではないでしょうか。

であるので、もし私どもがお店を再開してもその轍を踏むようであれば再開の意味がなくなってしまう。

しかし、だからと言って今起きている人口爆発のでっぱり部分を短銃に 200 年前の産業革命以前に戻せばいいのか？と言うとそれでは危ない考え方に陥ってしまいそうで怖くなります。

なので、ここはじっくり考えていずれにもならない「ちゃんとした新しい目的とその運営方法」を見いだし、それに沿ってお店の再開にこぎ着けたいと思っております。

「では具体的にどうしようっていう訳？」

残念ながらまだその解に至るどころか、その方法論すら見つかっていないのがただ今現在の我々の位置で御座います。

(追記)

現在の弊社業務は感染 2 世帯の外国人従業員とその家族全員の全般的なサポート業務のみで御座います。

現時点、無症状でもあることから

「何時マデ、ヤスムカ？」

家ニイルの、ツマラナイヨ。

ハヤクオミセ、イキタイヨ」

そういう彼らのはやる気持ちを怒鳴りもし宥めもし、透かしたりもしながら押し止めるのが、結構大変な日常業務となりつつある昨今でも御座います。